

剣道普及対策（案）

【背景】

- ・世界的な新型コロナウイルス感染症のまん延により人的交流が難しくなり、市内外の大会や稽古会中止を余儀なくされるなど多大なる影響を受けました。未だに感染者は後を絶たない状況ではありますが、徐々に市外大会や稽古会を再開する気運が高まっています。
- ・秦野市剣道連盟でも、令和4年3月上旬から土曜合同稽古会・月例合同稽古会などを再開しましたが、小・中学生や一般の参加者の減少傾向が続いています。このままでは、秦野市内の剣道は衰退する方向に進んでしまうと危惧しております。
- ・については、今後の対策案を作成しましたので、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

【対策案】

○関係団体（各道場・中体連・高体連）の連携強化

- 秦野市剣道連盟を主体に情報を共有化し、協力体制を構築。
- ・秦野市内で剣道に携わっている者が、気軽に参加できる体制づくり
 - ・広報活動の強化（広報誌・HP・勧誘など）



○地域部活動の強化（3地域：西・本町・大根鶴巻）

- 秦野市内中学校剣道部員の基本・技能の向上を図るためには、日常の部活動以外の稽古量を増やすことが必要。
- ・活動の場として、土曜合同稽古会・月例合同稽古会への参加呼び掛け
 - ・レベル別指導の徹底
 - ・指導内容のマニュアル化（3地域共有）

○月初実施していた「秦野市合同錬成会」の再開（人材交流）

- 秦野市内の各道場・中学校・高校以上一般の月1回交流の場を設ける。
- ・剣士同士の人材交流の一環としたゲームや試合稽古を実施。

○指導者のスキルアップ

- 子供達から求められる指導スキルを身につけ、個々の特性等に応じた順応性ある指導が必要です。
- ・簡易に技術的な指導に偏らず、子供達とのコミュニケーションを図り熱意のある指導者の育成。
 - ・小田原地区伝達講習会（毎年4月開催）への参加義務
 - ・剣道研修会（年3回開催）への参加義務

○秦野市強化選手登録制度の再開

- 各道場・中体連より、強化選手の選定を実施し、レベルアップを図る。
- ・令和4年7月から実施予定？
 - ・各道場と各中学校より選手を選定し、指導部で選考基準により決定。



市外剣道大会・錬成会等の機会の充実



秦野市独自の指導者登録制度を設ける